



## 回復期病棟関連の QI 指標

当院では 2014 年 10 月より回復期リハビリテーション病棟 44 床を開設致しました。

### <疾患別患者割合>

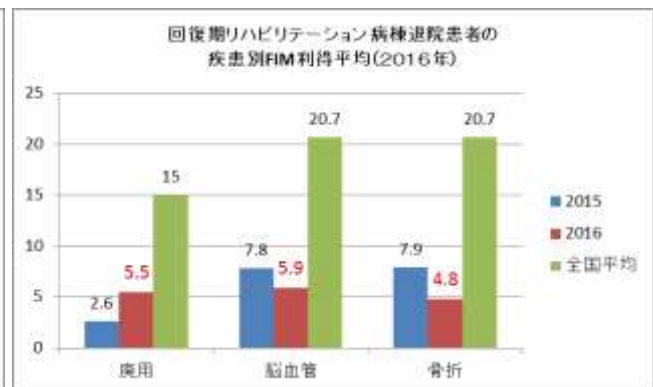
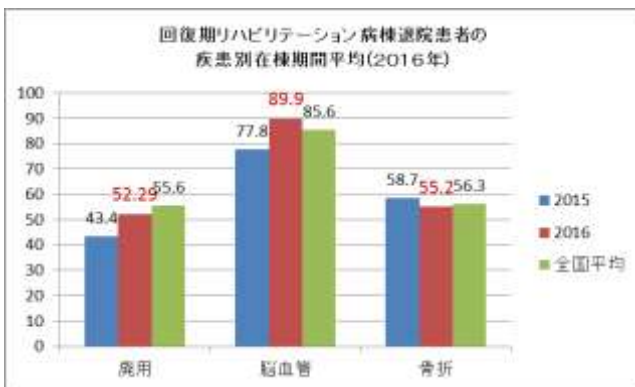
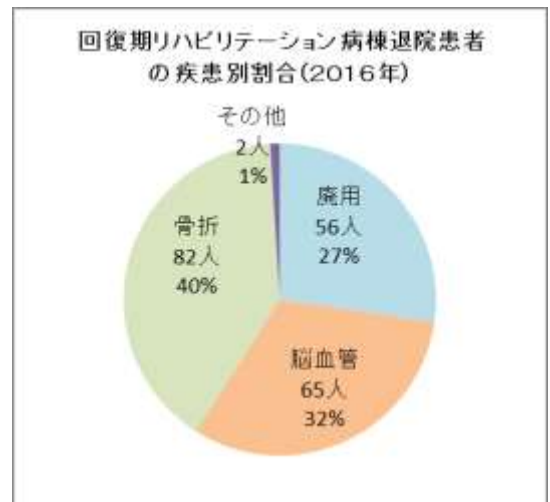
当院では「骨折」「脳血管」の患者が最も多く、ついで「廃用」の患者となっています。

以下、当院の結果を全国の回復期リハビリテーション病棟の平均値と比較して評価しました。

### <在棟期間平均>

本年は「脳血管」にて在棟期間が増加し、全国平均よりも長期になりました。

他の疾患では全国平均よりもやや短い在棟期間となっています。



### <FIM評価>

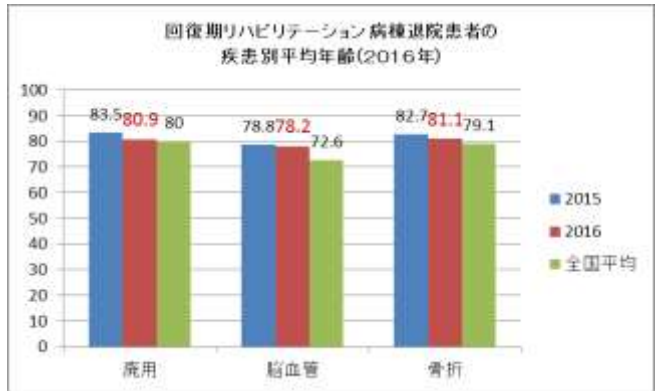
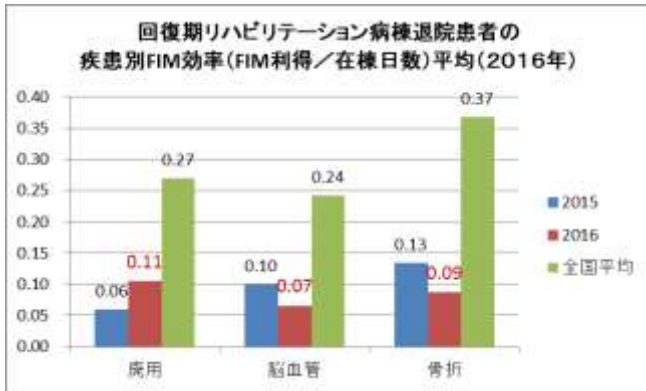
FIM評価とは患者の生活機能動作について、運動 13 項目、認知5項目を各項目7点（合計126点）で評価した数値です。

当院の回復期リハ患者のFIM利得（入院から退院までに上がったFIM点数量）は、全国平均と比較して低くなっています。

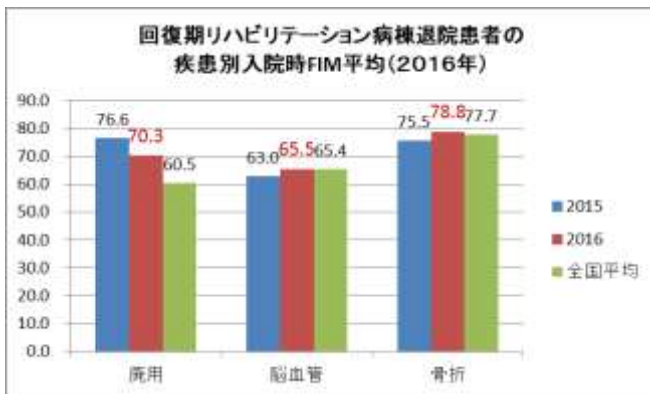
昨年と比較すると「廃用」の患者では平均利得が向上しましたが、「脳血管」「骨折」では平均利得が

低下しました。

FIM 利得を在棟日数で割った FIM 効率でも同様の結果となっています。要因のひとつとして当院の在院患者の平均年齢が高く、リハビリ効率が上がりにくい事があげられます。



入院時 FIM 得点を全国平均と比較すると、「廃用」以外では大きな差が見られず、開始時点の ADL 能力に大きな差は無い事がわかります。



2015年まで当院の回復期リハビリテーション病棟は、日曜・祝日のリハビリがお休みでしたが、2016年より365日リハビリを開始し、リハビリを更に充実させました。今後も患者のリハ効果向上に努めてまいります。

### <回復期病棟退院患者の在宅復帰率>

当院の在宅復帰患者は全国平均よりもやや低い73.6%でした。

